

平成 28 年度 事業計画書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

【平成 28 年度の基本方針】

平成 28 年度は、公募事業である「日本ジュエリーアート展」の名称を「日本ジュエリー展」に変更し、従来 2 年に亘って行なっていたものを今回は、募集・審査・表彰式・展覧会を単年度で行なうこととする。

尚、「日本ジュエリーデザインコンペティション」は一旦休みとする。

育成事業の JJDA 講座は、従来の講師による講演型のセミナーに加え、若年層へジュエリーデザインの普及啓発を図る体験型の講座を各地で開催する。

本年度も情報発信として SNS 等を使った迅速な発信方法を改善し、継続して全国で実施する各事業への参加者の増加、普及を図る。

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業 (公益目的事業 1)】

1964 年創立当初から概ね隔年で 28 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品及びデザイン画を公募し、審査・表彰することにより我が国ジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

平成 28 年度は、「第 29 回公募 2016 日本ジュエリー展」の募集と審査、展覧会を単年度内で行なう。

応募の実作品の中から各賞の作品を選び表彰し、さらに入選作品展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

(1) 応募要項発表・審査

平成 28 年春に「第 29 回公募 2016 日本ジュエリー展」の応募要項の発表を行う。ホームページ掲載をはじめ全国諸機関への告知、プレスリリース、応募説明会の実施等により、全国へ広く公募を行う。

応募締切りを平成 28 年 6 月下旬とし、7 月審査を実施する。

- ・主旨：「ジュエリーの持つ役割は時代とともに進化していきます。新しいデザインや素材の魅力、それを引き出す確かな技術は、一般的な装身具の枠を超え一つの文化として人の心を飾ります。独自性を伴った質の高いジュエリー、心を動かすジュエリーの可能性を秘めた作品を公募します。」

・応募内容

「第29回公募2016日本ジュエリー展JAPAN JEWELLERY COMPETITION」

応募部門：・一般部門 ・under26部門(26歳以下の応募者対象) ・JJDA会員部門

応募作品：実作品

(2) 審査発表・表彰

7 月審査終了後、速やかに応募者に審査結果を通知する。受賞作品については、表彰式当日に発表する。

図録を作成し、展示会場の他広く配布する。

表彰は、以下の各賞毎に発表する。

- ・大賞1名／優秀賞2名／一般部門賞1名／under26部門賞1名／JJDA会員部門賞1名／招待審査員賞2名／奨励賞若干名／日本ジュエリー協会賞1名

※大賞、優秀賞、招待審査員賞、奨励賞、日本ジュエリー協会賞は全入選作品から選出される。

- ・授賞式 平成28年9月17日 東京 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
(東京ミッドタウン・デザインハブ内)

(3) 展示

受賞作品及び入選作品の展示

会場内でギャラリートーク等の形式で作品解説を行なう。

会場／会期

- ・東京ミッドタウン・デザインハブ 平成28年9月17日～9月25日
- ・伊丹市立工芸センター 平成28年10月15日～10月23日
- ・せんだいメディアテーク（仙台） 平成28年10月29日～11月2日
- ・国際デザインセンター・デザインギャラリー（名古屋） 平成28年11月9日～11月14日

全会場 入場無料

(4) 主催、後援等

- ・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
伊丹市立工芸センター [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]
- ・後援 経済産業省／文化庁／公益財団法人日本デザイン振興会／
一般社団法人日本ジュエリー協会／公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会／
公益社団法人日本インテリアデザイナー協会／公益社団法人日本クラフトデザイン協会／
公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会／公益社団法人日本サインデザイン協会／
一般社団法人日本空間デザイン協会／公益社団法人日本パッケージデザイン協会／
一般社団法人総合デザイナー協会／
日本経済新聞社

【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。また、各展覧会場に於いてアンケート調査を実施し、これからの日本のジュエリーのあり方を探っていく。国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

(1) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史をグローバルに研究する専門家を招いて講演会及び初心者向け体験講座並びに技法の実技講座を行なう。また、これら JJDA 講座については、ビデオ等で記録し、データ構築を行って、公開の準備を行う。

- ①公募展受賞者トークセッション 会期 平成28年9月17日 司会進行 JJDA 会員
会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（東京）
- ②「JJDA 公募展のあゆみ」講演会 会期 公募展東京会期中 講師 JJDA 会員
会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（東京）
- ③JJDA 講座 2016 開催予定（詳細未定） 会期 平成28年冬頃 会場 東京
- ④JJDA 講座 2016 全国各地域における実技・体験講座
・東日本地区 「パールを使ったネックレス繋ぎ体験(仮称)」ワークショップ
会期 平成28年10月29日～11月2日（公募展仙台会期中） 会場 せんだいメディアテーク

講師 JJDA 東日本地区会員 募集人数 約 30 名

- ・関東地区 「銀粘土でストラップ等のトップ制作体験(仮称)」ワークショップ

会期 平成 28 年 9 月 (公募展東京会期中 1 日) 会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

講師 JJDA 関東地区会員 募集人数 約 30 名

- ・中部地区 「公募展受賞者講演会(仮称)」

公募展受賞者、中部地区入選者による自身の作品についての講演。

会期 平成 28 年 11 月 9 日 (公募展名古屋初日)

会場 国際デザインセンター・クリエイティブビジネススペースコード

- ・近畿地区 「銀線、パール、さざれ石等を使って作るペンダント」講習会

会期 平成 28 年 7 月 (日伊交流展会期中) 会場 石川しいのき迎賓館 講師 JJDA 近畿地区会員

募集人数 約 20 名

- ・近畿地区 「チタンの発色を楽しむペンダント」講習会

会期 平成 28 年 10 月 (公募展伊丹会期中 1 日) 会場 伊丹市立工芸センター 講師 JJDA 近畿地区会員

募集人数 約 20 名

- ・西日本地区 「卒園記念手作り体験講座(仮称)」講習会

会期 平成 29 年 1 月 14 日 会場 福山市「かやのみ保育園」 講師 JJDA 西日本地区会員

募集人数 園児 30 名、保護者 5 名

(2) 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性を啓発する。

①ホームページ上において公開し普及推進する。(継続)。

②メルマガ等にて継続的に記載し啓発する。

日本デザイン団体協議会 (D-8) / デザイン保護研究会への共同参加事業として、「D-8 デザイン創作証」運用継続を推進し、社会への普及を図る。

(3) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業 (公益目的事業3)】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、国際相互理解の促進に努める。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し、訴求活動を行う。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

①東日本地区併設会員展示「東の風展」 公募展と併設で東日本地区会員による展覧会

会期 平成 28 年 10 月 29 日～11 月 2 日 会場 せんだいメディアテーク 出品者 10 名

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

①日伊コンテンポラリージュエリー交流展 「DIALOGHIー対話」金沢巡回展

JJDA 創立 50 周年記念事業として開催された日伊交流展の巡回展。日本とイタリアのジュエリー協会に所属するアーティストのコンテンポラリージュエリー作品を両国で一堂に展示、広く一般に公開し、両国社会でのコンテンポラリージュエリーの認知度を高め、その魅力、可能性を通して、両国のさらなる文化交流に役立たせることを目的として開催する。

・会期 平成 28 年 7 月 1 日～10 日 会場 石川しいのき迎賓館（金沢市） 出品者 80 名（両国各 40 名）

②「DIALOGHI in 金沢」展

日伊コンテンポラリージュエリー交流展併設会場に於いて金沢をテーマにした作品を展示する。

会期 平成 28 年 7 月 1 日～9 日 会場 石川しいのき迎賓館（金沢市） 参加者 約 40 名

(3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業のインフォメーション、各 JJDA 講座、展覧会等の開催に関する情報を提供、発信する。SNS の活性化を図る。

①機関誌「JJDA2017 No.51」A4 版 約 32 頁 平成 29 年 1 月発行

②JJDA ホームページの運営を充実化（継続）<http://www.jjda.or.jp>

③ジャパンジュエリーフェア 2016 における協会広報ブースに出展し、協会事業を発信する。

④プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化

⑤ジュエリーデザインに関するデータベース構築

【IV その他事業】

(1) 公募展会期中に「ジュエリーバザー（チャリティー）」を開催。（東京）

集まった支援金を支援活動機関・団体等を調査指定して寄附する。

(2) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

①関東地区 JJDA 講座 2016 「紫外線硬化樹脂セミナー（仮称）」（東京）

②関東地区 鍍店の見学会（東京）

③中部地区 中部デザイン団体協議会（CCDO）研修会参加

④会員相互の交流づくり

⑤JJDA の歴史及び写真の記録のための資料収集

⑥「時代をとらえた JJDA」をテーマにこれからの JJDA のあり方について、意見交換会を各地で開催する。

(3) 会報「FROM JJDA」及び「メルマガ from JJDA」発行 年 12 回 事務局編集・発行

各委員会、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝える。

(4) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①日本デザイン団体協議会（D-8）への参加

D-8 運営会議、デザイン保護研究会、及びジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

【V 管理等】

(1) 会議開催

①総会開催 平成 28 年 5 月

②理事会開催 平成 28 年 4 月、7 月、10 月、平成 29 年 1 月

③部会長会議・事業部会合同会議・委員会及び部会会議

- ・全国 5 地区部会及び事業等の各部会部会長による会議開催。年 1 回
- ・各委員会及び各担当による会議開催。計 年約 60 回

(2) 諸規定の整備

(3) 会員情報管理（継続）

(4) 会員章碑の作成（継続）

(5) JJDA 講座の DVD 貸出

(6) 協賛店の整備と拡大

(7) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(8) 一般への情報提供サービスの検討

(9) 予算書・決算書作成

(10) 会費納入の徹底

以上